

林業ぐんま



株式会社新井土木

代表取締役 新井 正則

〒376-0306 群馬県みどり市東町荻原140番地

ISO9001認証取得

TEL 0277-97-2418 FAX 0277-97-3110



池原工業株式会社

この技術を自然のために、人のために。

代表取締役 池原 純

群馬県吾妻郡東吾妻町大字原町160番地 TEL.0279-68-7111



緑の募金で 緑豊かなふるさとぐんま

公益社団法人 群馬県緑化推進委員会

前橋市大渡町1-10-7 群馬県公社総合ビル内
☎ 027(280)6257
URL: http://www.g-sinrin.jp/

森づくり、森林とのふれあいの促進、林業用資材の販売等をしています。

(一財) 日本森林林業振興会

前橋支部

支部長 高嶋 伸二

〒371-0035 前橋市岩神町4-17-3

TEL (027) 231-2270 FAX 233-0992

発行責任者 狩野 浩志
印刷者 杉浦印刷株式会社

目次

林政情報	1
令和三年度群馬県森林・林業関係施策・組織改正及び当初予算の概要	1
山火事予防にご協力ください！	1
令和3年度春の緑化関連行事予定	1
各地のたより	1
(渋川) 森林環境譲与税を財源とした	5
(西部) 林業専用道「鳶石線」の開設と森林整備の促進について	5
(藤岡) 通信圏外での「万が一」に備えて	5
(富岡) 富岡市乗合タクシー「愛タク」	5
(吾妻) ニホンジカの捕獲研修会開催	5
(桐生) 地元の木を利用し環境保全に貢献しよう！地元木材組合が	5
公共施設へ木製品を寄贈	5
(利根沼田) 川場小学校における	5
学校緑化の取組み事例	9
地域を担う人	9
今井 直樹さん	9
高塩 達也さん	9
松原 拓海さん	9
福島 英貴さん	9
森の談話室	11
バイオマスチップ工場	11
あがつま森林育成事業協同組合 理事長	11
入江勝郎さん	11
林業試験場から	12
ICTを活用した	12
きこの生産技術開発について	12
トピックス	13
令和2年度	13
ぐんま林業就業支援研修の実施	13
群馬県緑化推進委員会から	14



林政情報

令和三年度 群馬県森林・林業関係施策・ 組織改正及び当初予算の概要

◎「群馬県森林・林業基本計画」の策定

本県では、平成23年度に策定した森林・林業基本計画に基づき、川上から川下までの施策に総合的に取り組んできました。これにより、計画目標である素材生産量40万m³に対し、実績は37.9万m³と概ね達成できました。

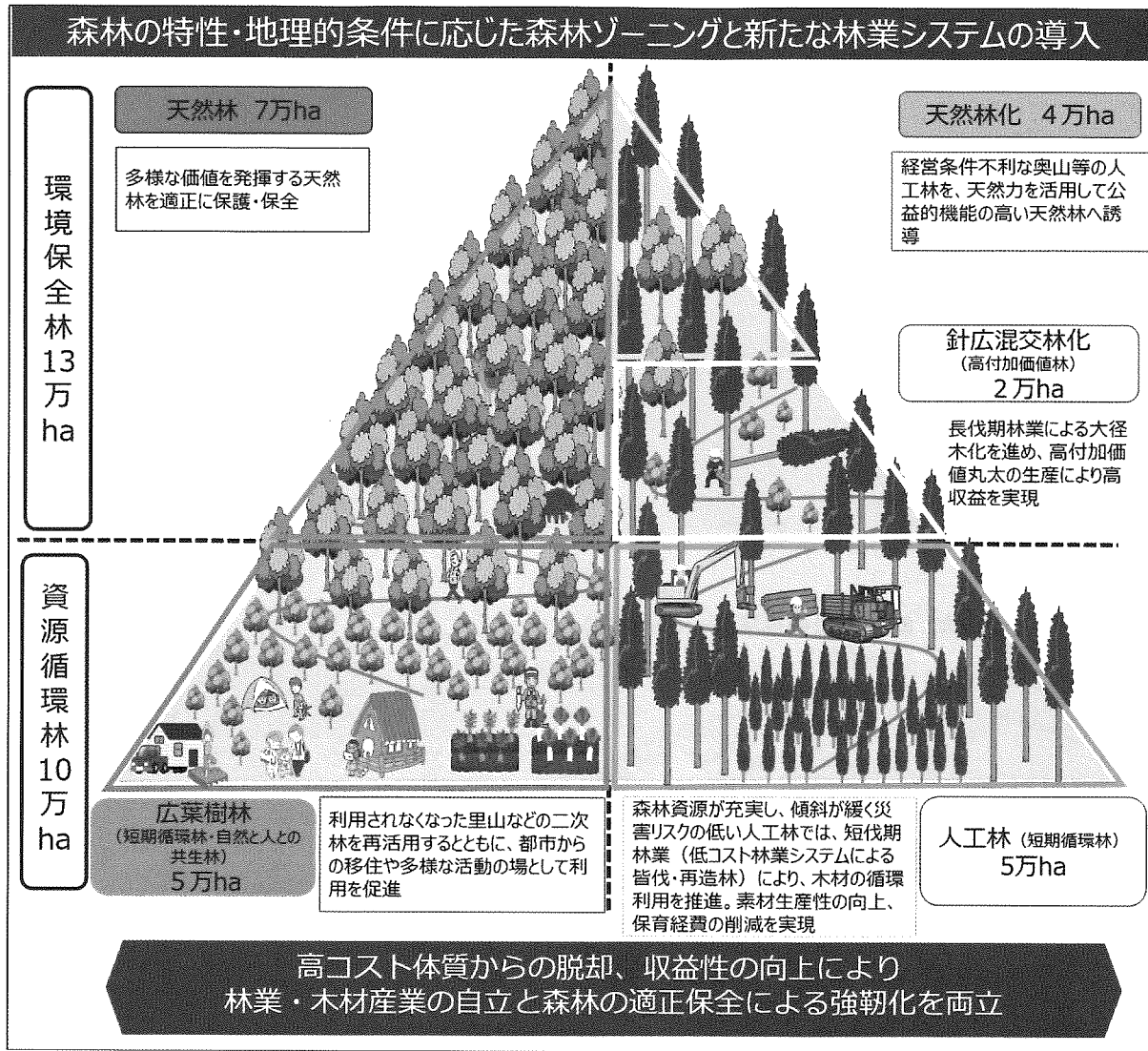
しかしながら、林業産出額は横ばい、製材工場における国産材製材品出荷量は減少傾向で推移しており、県産木材の26%が県外へ流出している状況となっております。

これは、素材生産型林業への転換の遅れと、市場のニーズに対応できる集成材工場等の加工体制の強化に立ち遅れたことなどが原因と考えられます。

しかし、首都圏にあり、森林資源が充実しているなど本県のポテンシャルは高く、産業として大きく飛躍するチャンスがあります。

そこで、産業構造を改革し、県内での森林資源と資金の循環により「新たな富」を生み出し、木材産業・林業産出額を増加させていくことを目指して、令和三年度から新しい「群馬県森林・林業基本計画」をスタートします。

本計画では、①森林ゾーニングの導入、②地理条件に応じた素材生産、③低コスト林業



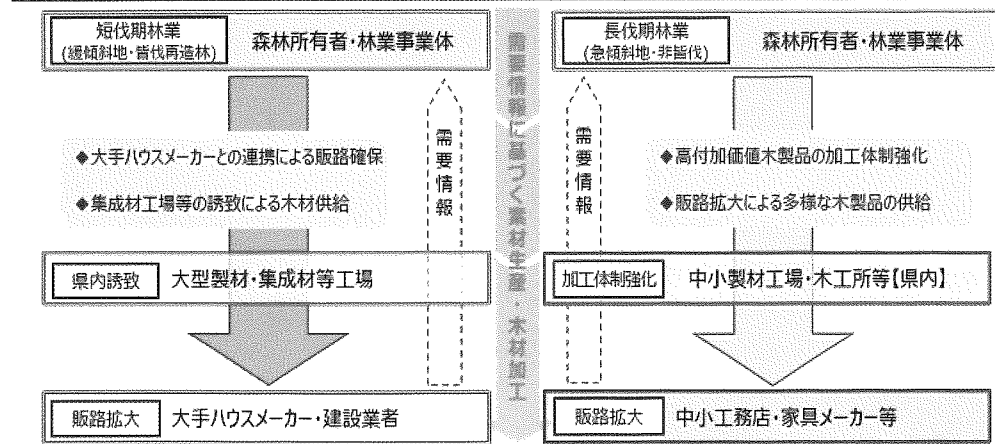
環境森林部(森林局関係) 令和3年度当初予算の状況

課名	R03当初予算額	R02当初予算額	増減	前年比
林政課	4,143,103	4,208,330	△ 65,227	98.5%
林業試験場	197,173	178,439	18,734	110.5%
林業振興課	1,417,410	1,170,644	246,766	121.1%
森林保全課	8,826,535	9,073,594	△ 247,059	97.3%
計	14,584,221	14,631,007	△ 46,786	99.7%

区分	R03当初予算額	R02当初予算額	増減	前年比
補助公共	7,850,000	7,850,000	0	100.0%
林道	930,000	930,000	0	100.0%
作業道	590,000	590,000	0	100.0%
治山	4,745,000	4,745,000	0	100.0%
造林	1,091,000	1,091,000	0	100.0%
災害復旧	494,000	494,000	0	100.0%
単独公共	2,460,000	2,722,000	△ 262,000	90.4%
林道	290,000	330,000	△ 40,000	87.9%
林業作業道	250,000	270,000	△ 20,000	92.6%
治山	1,816,000	2,018,000	△ 202,000	90.0%
造林	60,000	60,000	0	100.0%
水源林等整備推進	44,000	44,000	0	100.0%
公共事業合計	10,310,000	10,572,000	△ 262,000	97.5%

◎令和三年度森林・林業関係予算
森林・林業関係の県予算は、既存事業の見直しと新規事業の創設を併せて行い、総額145億8422万円、対前年とほぼ同額となりました。
林業・木材産業振興のため、林業振興課予算が対前年比121%となり、治山・林道の公共事業は、対前年比97.5%となっております。

目指すべき姿



- ◆低コスト林業システムの導入・木材加工体制の強化により、産業構造を転換
- ◆県内での森林資源と資金の循環により、木材産業産出額・林業産出額を増加
- ◆森林の公益的機能は、林業経営による森林整備により向上。公的管理による関与を低減

これにより、林業・木材産業の産業としての自立と森林の公益的機能の維持・増進との両立を図り、「県産木材による自立分散型社会」の実現に官民創生で取り組んでいきます。
組織改正としては、林業事業者の経営強化と担い手育成のため、林業振興課の「きのこ・林業担い手室」を「林業担い手対策室」に改組します。

森林の公益的機能の発揮については、これまで治山事業等の公的管理を中心に進めてきました。今後は、公的管理による関与を低減させ、林業経営による森林整備を通じて森林の公益的機能を高度に発揮させていきます。

改革の推進力を高めるため、森林・林業予算を大胆に見直し、「治山・林道事業」から「林業・木材産業振興」へシフトすることも方向性の一つとなっております。

を展開、大型製材・集成材工場を誘致して、大手ハウスメーカー等への販路拡大を目指します。一方で、急傾斜地では非皆伐の長伐期林業に取り組み、県内の既存中小製材工場、工務店や家具メーカーと連携し、高付加価値木製品の加工体制を強化します。

システムの導入の3つを重点的に進め、「供給重視から需要重視の産業構造」への転換を図ります。
基本的な方向性として、緩傾斜地では資源循環林を設定し、皆伐・再造林の短伐期林業

令和3年度 春の緑化関連行事予定

市町村名	実施日	行事の名称(☆は苗木配布会を予定)	実施場所
前橋市	5月中旬	☆苗木配布会 (赤城神社参道松並木と千本桜の森ウォーキング)	みやぎ千本桜の森
	5月上旬 5月中旬	☆苗木配布会(参道松並木クリーン作戦) ☆苗木配布会(粕川町つつじが峰トレッキング)	赤城神社参道松並木 おおさる山乃家
伊勢崎市	4月29日 4月10・11日/ 5月15・16日 5月1日	☆緑の募金推進中央キャンペーン 第9回オープンガーデンいせさき (個人宅の庭公開) ☆グリーンフェスタ2021	スマーク伊勢崎 市内個人宅 華蔵寺公園
	4月24日 5月8日 5月22日	森林観察会 森林観察会 第74回群馬県植樹祭	憩の森森林学習センター 憩の森森林学習センター 渋川市赤城総合運動自然公園
渋川市	4月24日 5月8日 5月22日	森林観察会 森林観察会 第74回群馬県植樹祭	憩の森森林学習センター 憩の森森林学習センター 渋川市赤城総合運動自然公園
吉岡町	4月未定	吉岡町漆原しだれ桜祭り	道の駅よしおか温泉
玉村町	5月30日	☆苗木配布会(玉村町クリーンセンター見学会)	玉村町クリーンセンター
高崎市	4月下旬(予定) 4月29日 4月29日 5月20日 5月29～30日	☆花水木まつり ☆たかさきスプリングフェスティバル緑花祭 ☆みさと芝桜まつり 県緑化センター出張緑化講座(第2回) 誕生記念樹木贈呈	群馬銀行新町支店駐車場 群馬音楽センター前広場 みさと芝桜公園 高崎中央公民館 高崎市役所南側ピロティ
	実施日未定 実施日未定 実施日未定 4月22日	第23回ふじまつり 「花と緑のぐんまづくりin藤岡」 ☆苗木配布会 県緑化センター出張緑化講座(第1回)	ふじの咲く丘、ふじふれあい館 ふじの咲く丘他 ふじの咲く丘orらん藤岡 藤岡市総合学習センター
藤岡市	実施日未定 実施日未定 実施日未定 4月22日	第23回ふじまつり 「花と緑のぐんまづくりin藤岡」 ☆苗木配布会 県緑化センター出張緑化講座(第1回)	ふじの咲く丘、ふじふれあい館 ふじの咲く丘他 ふじの咲く丘orらん藤岡 藤岡市総合学習センター
下仁田町	4月17日 4月18日	写真教室 桜観察会	下仁田町上小坂「さくらの里」 下仁田町上小坂「さくらの里」
南牧村	5月3日(予定)	☆オアシスマつり(春の苗木配布会)	道の駅「オアシスなんもく」
中之条町	4月中旬(予定)	☆苗木配布会	中之条ガーデンズ
長野原町	5月上旬(予定)	☆苗木配布会(GWフェア)	道の駅ハッ場ふるさと館
嬭恋村	4月29日(予定)	☆苗木配布会(嬭恋村「安市」)	三原商店街
沼田市	4月2日～4月22日	沼田公園桜まつり	沼田公園
昭和村	4月中旬(予定) 4月29日(予定)	結婚記念植樹 ☆「昭和の日」記念イベント苗木配布会	結婚の森 道の駅「あぐりむ昭和」
	4月3日～18日 4月24日・25日 4月24日～ 5月23日	第57回吾妻公園チューリップまつり 第83回市民植木市 ☆花と緑のぐんまづくり2021 in 桐生 ～ふるさとキラキラフェスティバル～	桐生市吾妻公園 桐生市新川公園 桐生市新川公園等
桐生市	4月3日～18日 4月24日・25日 4月24日～ 5月23日	第57回吾妻公園チューリップまつり 第83回市民植木市 ☆花と緑のぐんまづくり2021 in 桐生 ～ふるさとキラキラフェスティバル～	桐生市吾妻公園 桐生市新川公園 桐生市新川公園等
太田市	5月下旬	☆誕生記念樹配布会	八王子山公園 (太田市北部運動公園)
館林市	飾花4月24日～ 5月23日/ 緑化啓発事業5月4日 5月下旬(予定)	花と緑のフェスティバル2021 多々良アカマツ植樹体験事業	館林駅～ つつじが岡公園、茂林寺等 多々良保安林
	5月中旬(予定) 5月中旬(予定)	☆浅原体験村創業祭 ☆春野菜共進会	浅原体験村 JAにたみどり笠懸野菜集出荷所
みどり市	5月中旬(予定) 5月中旬(予定)	☆浅原体験村創業祭 ☆春野菜共進会	浅原体験村 JAにたみどり笠懸野菜集出荷所
邑楽町	4月16日 5月4日 5月22日(予定) 5月25日	森林楽習講座(第1回) ☆県緑化センター「みどりの集い」(検討中) ☆緑化苗木無料配布会 森林楽習講座(第2回)	県緑化センター 県緑化センター 邑楽町役場 県緑化センター

*19市町村 42回

*各行事は新型コロナウイルス感染症の状況により中止又は延期される場合があります。

林政情報

**山火事予防にご協力ください！
あなたです森を火事から守るのは**

3月1日～5月31日は県山火事予防運動実施期間です

県内の山火事は、3月に入ると発生が増える傾向があり、例年、5月頃にかけて多発しています。

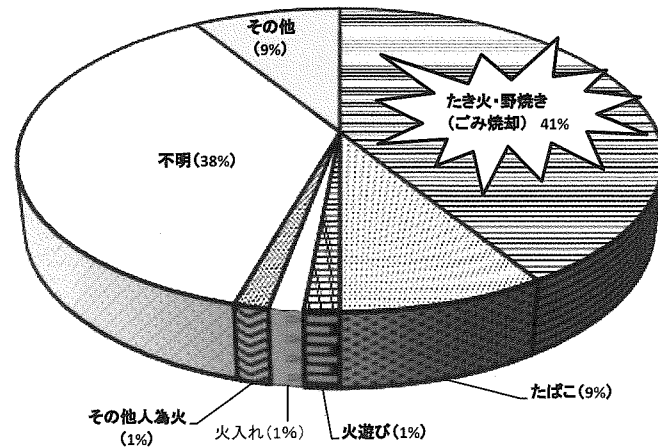
このこと背景としては、冬～初夏にかけてのこの時期は、

- ・ 空気の乾燥や強風など、火災が発生しやすい(燃え広がりやすい)気象条件となることが多いこと
- ・ 林地やその周辺には、堆積した枯れ葉や枯れた下草など、燃えやすいものが多いこと
- ・ 行楽や、野外での作業に適したシーズンとなり、山林への人の出入りや、野外で火を使う機会が増えること
- ・ などが考えられます。

そのため県では、3月1日～5月31日を県山火事予防運動実施期間とし、予防対策に重点的に取り組んでいます。

令和2年の山火事発生件数は7件、被害を受けた森林面積は1.36ヘクタールとなっており、昨年に続き、近年では比較的少ない状況でした。(林政課調べ)

平成28～令和2年 林野火災発生原因(件数割合)
(計68件)



しかしながら、山火事は消火が難しい場合も多いため、ひとたび発生すると、非常に大きな被害をもたらしかねず、油断は禁物です。焼けてしまった森林を再生し、災害を防止するなどの公益的機能を回復させるまでには、多くの費用と長い時間が必要になります。

山火事を防ぐには

山火事の出火原因は、人為的なものがほとんどです。特に、家の庭や田畑の周りでのた

き火などから山林に燃え広がる事例などが、依然として多くなっています。ちょっとした不注意による「小さな火」から起こる火災を減らし、県民共有の財産である森林を守るため、特に次のようなことに気をつけましょう。

- ・ 枯れ草等の近くなど、周囲に燃え広がる恐れのある場所でたき火等をしていない
- ・ 乾燥注意報の発令時や風の強い時は火の取扱に特に注意し、たき火等をしていない
- ・ 火気の使用中はその場を離れず、使用後は確実に消火する
- ・ たばこの吸い殻、使用後の炭や焼却灰などは、必ず消火を確認し、適切に処分する
- ・ 火遊びはしない、させない

もしも山火事を発見したら…

燃え広がった火事を無理に消そうとするのは大変危険です。すみやかに119番通報し、安全な場所に避難しましょう。

群馬県林政課 森林整備係
電話 027-226-3221(直通)

各地の便り

森林環境譲与税を財源とした森林整備が始まる

昨年度から、森林環境譲与税が各市町村に譲与され、それを財源に様々な取組が始まっています。前橋市では、県内で最初の森林環境譲与税を財源にした森林整備が始まりました。

森林整備の内容は、松枯れ林分の樹種転換です。前橋市では、森林環境譲与税を財源にした森林整備の方針を、マツ林の整備を優先に実施することに決めました。今回の現場はその第一弾となります。



松枯れ林の状況

前橋市が森林整備の方針を決めた背景は、市内の民有人工林は、マツ林が約6割を占めており、その多くが松くい虫被害を受けていることが挙げられます。松枯れ林分

では、枯れたマツが点在しており、倒木の危険が懸念されます。また、下層植生にアズマネザサが密生している状態が見られ、有害獣類の温床にもなっており、一部では農業被害や住民生活に支障を来しています。さらに、景観的な観点からも問題があることから、優先的に森林整備を進め、健全な森林へ再生することが必要と考えられるため、方針を決定しました。

今回の現場は、赤城県道沿いの林分で面積は2.31ヘクタールです。道路脇で、緩傾斜地であり、将来的に経営林が期待できることから、スギを植栽する予定でいます。



枯損木の伐倒状況

前橋市では、次年度以降においても、同様な取組を順次計画してまいります。松枯れ林の整備が進むことを期待します。

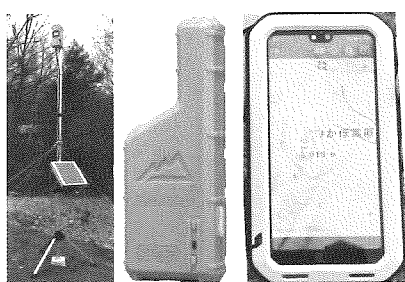
(渋川森林事務所通信員)

「通信圏外」に備えて

林野庁林業労働力強化対策では今年度、安全衛生装備や装置の導入と研修会の開催が対象になる公募事業がありました。

管内関係者にお知らせしたところ、神流川森林組合から「万が一の時の通信手段を確保したい」との要望があり、圏外でもSOS信号の発信やチャットによる会話が可能な広域無線通信技術(LPW A)を使った通信機器「ジオチャット」の導入と、これを活用した捜索救出訓練の二本立てで応募したところ、見事採択となりました。

この通信機器は免許不要で、スマートフォンアプリと一緒に使用します。ソーラーバッテリーで稼働する中継機を使えば、さらに遠くの現場ともつながります。神流川森林組合では、今回の事業で親機を一基、中継機を二基、子機を五台購入しました。多野



左:ソーラーバッテリーと中継機
中:ジオチャット子機
右:SOS信号発信位置が地図上

を二基、子機を五台購入しました。多野峻岡地域は急峻で複雑な地形が多く、携帯電話が普及した今日でも、多くの現場が

林業専用道「鳶石線」の開設と森林整備の促進について

林業専用道鳶石線は、高崎市箕郷町内において、間伐作業などを始めとする森林施業に用いるための林道です。コスト削減を図るため、幅員は3.5mと狭く、規格は一般林道より落ちるので、一般車両の通行は認めず、木材輸送車両などに限定されていますが、大型トラックの通行にも耐えられる構造です。事業は、当事務所の主体により、平成二八年度から令和二年度までの間で行い、総事業費は約1億円です。内訳は国費約4千4百万・県費約3千7百万円残りは地元高崎市からの負担金です。全体延長は1,539mで、開設に伴う利用区域森林面積は、35haです。そのうち人工林は32haを占め、人工林率は9割を超え、資源構成は50年以上の森林が26haとなつています。区域内の森林は、今まで手入れが入らなかったため暗く密の林でした。

専用道の開設の進行に伴い、令和元年度には早速、地元烏川流域森林組合により、区内の間伐が作業道の開設とともに始まりました。間伐は、高性能林業機械のロングリーチハーベスタ及びF801フォワーダを中心とした機械化により進められ、事業面積は約11haで素材生産量は、1,631m³でした。集材は専用道の沿線に土場が設置されたこと



被災者捜索救出訓練

通信圏外で、無線すら使えないところもあり、このような場所では、事故が発生してもすぐに救助を要請することができず、一刻を争う場合や単独行動の場合には、確実に生命の危機に直結しますが、今回の機材導入で旧万場町のほとんどの現場と双方向通信が可能となりました。

十一月には通信圏外で単独行動中に職員がケガをした、という想定で捜索救出訓練を行いました。当日は、神流町役場の林業や防災の担当者、地元消防関係者、県林業普及指導員も参加し、訓練ではSOS信号が表示された位置情報を頼りに全員で被災者を捜索しました。発見後は応急処置をして搬送、その後消防関係の方から担架で搬送するときの注意点などを教えていただきました。

神流川森林組合では今後、「ジオチャット」を安全対策だけでなく、その通信機能を応用して、資源情報の収集や丸太の生産管理、麻生木材ヤードへの出材調整、需要先との情報共有など、神流町の木材サプライチェーンにも活用する予定です。

(藤岡森林事務所通信員)

で、フォワーダで土場まで運びました。専用道土場からは、直接大型トラックで市場に搬出することができました。このため、現場内運搬の大幅な効率化が図れ、県平均の労働生産性約5m³/人の約2倍の11m³/人の功程で作業ができました。生産経費や運搬費を控除後の森林所有者への還元額は、平均で約22万円/haとなり、所有者の森林整備への理解も進んだとのこと。当事務所では林道等が不足した森林区域に林業専用道等の整備を進め、低コストで森林整備ができるよう引き続き基盤整備に努めます。

(西部環境森林事務所通信員)



高性能林業機械による間伐
(ロングリーチハーベスタ)

大型トラックによる専用道
からの直積積み

各地の便り

富岡市乗合タクシー「愛タク」 停留所に木製ベンチを寄贈

一月二十八日、富岡木材組合は、富岡市に木製ベンチを寄贈しました。
富岡木材組合は、富岡市、甘楽町の製材・木材販売等を行う事業者により構成されています。

組合長の株式会社 岡田木材 岡田隆治さんに、今回の取り組みについてお話を伺いましたのでご紹介します。

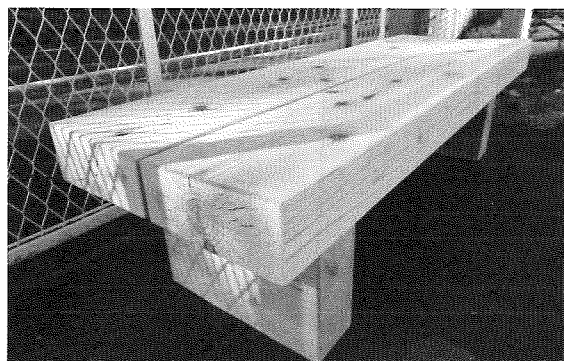
ベンチの寄贈は、県産木製品の普及（県木材組合連合会事業の一環）を目的に行ったもので、どのような製品が望ましいか、富岡市と協議を重ね、デマンド型乗合タクシー「愛タク」の運行開始に合わせて新設された停留所十か所に、木製ベンチを設置することになったそうです。



富岡市役所停留所の様子

停留所の一つ、市役所前に設置

されたベンチは、市産材を使用した庁舎外装のルーバー（羽板状の部材）ともよく馴染んでいます。



木製ベンチ

ベンチの材料には、県産スギ無垢材のうち、通常梁として使用する厚みのある寸法材を使用した。椅子の形状は、ご高齢の方が立ち上が

りやすい高さとし、座面中心部に向かって緩やかな勾配を付けたことで、座りごこちもよく、雨水の停滞も防ぎます。

岡田組合長は、「今回の取り組みを通して、富岡市との協議により、提案型の製品を寄贈できたことが大きな成果、今後も地元産材の活用につながる活動を積極的に行っていきます。」とお話されました。

事務所としても、様々な場所で県産材の活用が広がるよう支援していきたいと思えます。

（富岡森林事務所通信員）

地元の木を利用し環境保全に貢献しよう 地元木材組合が公共施設へ木製品を寄贈



桐生市贈呈式

令和三年一月二十五日、桐生木材組合と大間々木材組合は、桐生市・みどり市役所を訪れ、地元産材を活用した木製品を寄贈した。

両組合は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で在庫が増えている国産材利用を促すための「過剰木材在庫利用緊急対策事業」を活用し実施したものである。

桐生市では、地元のスギで制作したベンチ七基を、桐生木材組合から梅田ふるさとセンターへ、大間々木材組合から黒保根支所へ寄贈した。目録を受け取った荒木恵司桐生市長



木製ベンチ

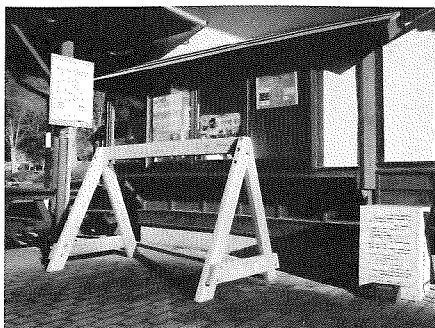
ニホンジカの捕獲研修会開催

林業ぐんま（夏号）でも紹介させていただきましたが、吾妻環境森林事務所管内では、皆伐再造林が増加し、今後、問題となるのが、野生獣類による被害です。当管内では、ニホンジカによる森林被害が増加してきており、捕獲頭数も年々増加している状況です。

現在、造林地においては、獣害対策として森林組合などは忌避剤を散布するなどの防除対策を実施しています。野生獣類による被害を軽減するには、「守る対策」「捕る対策」を合わせて行うことが重要であるとされています。

そこで、以前から計画をしていたシカの捕獲研修会を令和三年三月三日に開催しました。今回は、研修会の対象者を吾妻猟友会員と吾妻森林組合の狩猟免許所持者として開催し、十八名の参加がありました。研修の内容は、林業試験場において考案された「長期定点捕獲法」を紹介しました。林業試験場から、この捕獲法を試験研究している坂庭主席研究員を招き、座学による講義を行いました。

講義内容は、「シカの生態について」「シカの生態に基づく捕獲」「長期定点捕獲法」について、動画も交えて研修を行いました。この捕獲法は、鉾塩を利用した捕獲法で獣



サイクルスタンド

は「木のぬくもりを市民に感じてほしい」と謝意を示した。

また、みどり市贈呈式では、須藤昭男市長が「木材の活用を後押しする施策に力を入れたい」と挨拶した。地元産のスギを活用した木製サイクルスタンド六台は、市内のながめ公園、小平の里、浅原体験村、鹿田山フットパスへ設置された。

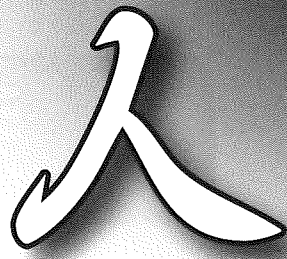


みどり市贈呈式

とって、環境に優しく、快適な施設整備に向けて地域産の木材を多用する取り組みを推進いただければ幸いです。

（桐生森林事務所通信員）

地域を担う



各地の便り

川場小学校における 学校緑化の取り組み事例

「ローソン緑の募金」を活用した学校環境緑化事業完成式典が、2月2日川場村立川場小学校において開催されました。

ローソングループでは、各店舗に募金箱を設置し来店者から集めた募金とローソン本部からの寄付金を合わせ「ローソン緑の募金」として、公益社団法人国土緑化推進機構を通じて、おにも学校緑化や森林整備などの活動を支援しています。

群馬県内でも毎年数校ずつ、この支援により学校環境緑化事業が実施されており、今年度は高崎市の小学校と川場小学校で実施され、川場小学校では、校庭にある桜12本の樹勢回復が行われました。

当日は、コロナウイルス感染拡大を防止する観点から、参加者は絞られ、5年生の児童と関係する教職員のみとし、その他川場村関係者と小規模で開催されました。



樹勢回復がされた桜

校長の挨拶では児童に対して「昨年は桜の咲く頃は休校中

で、校庭で桜を見る事ができなかったが、これから

は元気になった桜を見ながら元気に活動して欲しい」とし、また、

今回の事業実施に対し関係者へ感謝の言葉がありました

県緑化推進

委員会事務局からは、学校環境緑化事業の概要や緑の募金が国連で採択されたSDGs（持続可能な開発目標）が掲げる世界共通の目標達成に貢献していることなどの説明がありました。

児童代表からは、「長寿の桜が元気になって良かった。これからも長く咲き続けて欲しい」との挨拶がありました。

一人の募金は僅かでも、多くの善意が集まることにより、子どもたちや地域の人々の笑顔に繋がることを実感する式典となりました。

（利根沼田環境森林事務所通信員）



式典参加者で記念撮影

地域を担う



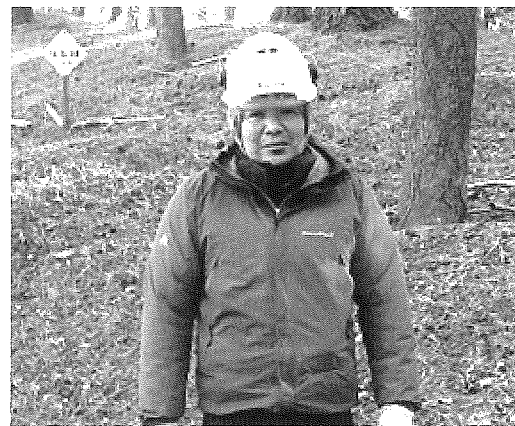
鐺川東部森林組合

今井 直樹さん

一 趣味

ツーリング、ライブハウス観戦

二 今後の抱負
周りのプレッシャーに負けず、がんばります。



小菅林業有限公司

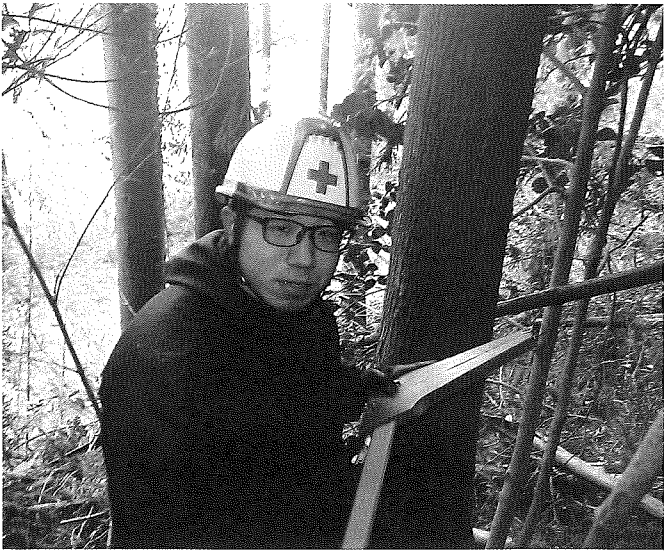
高塩 達也さん

一 趣味

ドライブ

二 今後の抱負

社長を超える林業家なるために、安全に注意して仕事を頑張りたいと思います。



有限公司 青木林業

松原 拓海さん

一 趣味

料理

二 今後の抱負

今まで学んできた事をよりいかにしていき、これから新しい事にも積極的に挑戦していきたい。



株式会社吉本 上野事業所

福島 英貴さん

一 趣味

山歩き

二 今後の抱負

現場によって様々な条件がある中で最適解を常に模索し、効率良くだけでも、安全が第一を忘れず無事故無災害を目指します。現状に満足せず、経験を積み重ね成長していきます。林業関係の方々にも、わたくしを覚えて頂けたら嬉しいです。

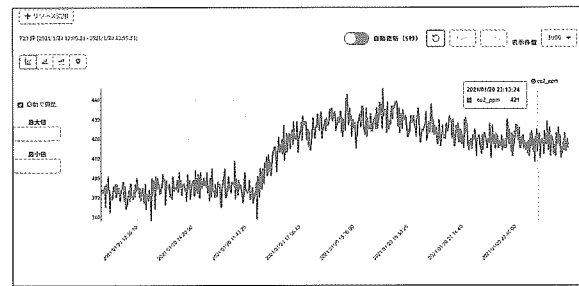


ICTを活用したきのこ生産技術開発について

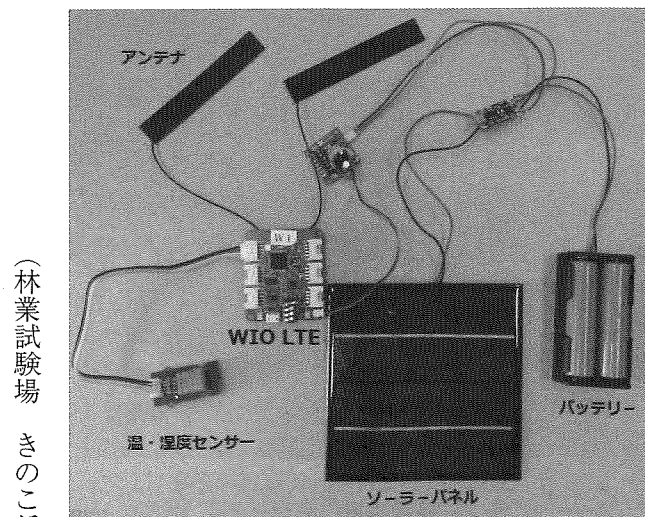
「ハウス内で自動的に環境を改善するシステムを検討する。」「システムについて低コスト化を図る。」となっています。

そこで、シイタケ菌床栽培についてもICT技術を使って栽培を効率化、低コスト化を図ろうとすることが本研究の趣旨です。

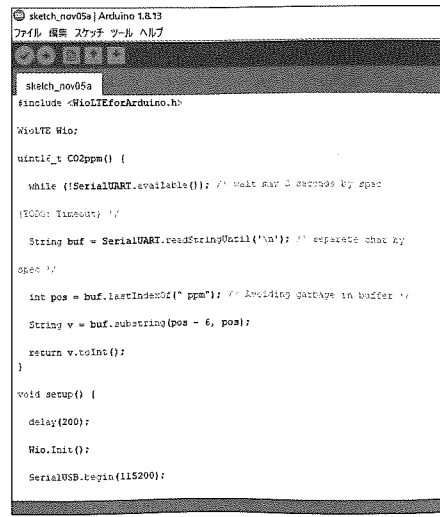
主な研究開発内容としては、「ハウス内栽培環境因子を計測してデータ収集、配信することで常時確認できるシステムを構築する。」「ハウス内で自動的に環境を改善するシステムを検討する。」「システムについて低コスト化を図る。」となっています。



データ配信の様子



ソーラーパネルとバッテリーを接続



プログラミング画面

(林業試験場 きのこ係)

今のところ計測する栽培環境因子は温度、湿度及び二酸化炭素濃度としていますが、今後は必要とされる他の因子を選択します。

令和二年度は、ICT機器の選択とプログラミング、そしてハウス内で実際に菌床栽培（発生・休養部分）を行い、栽培環境にICT機器が対応できるかの検証をしています。

システムを開発していく上でクリアする課題の一つに電源があります。現行のシステムは、ICT機器がデータを取得しますが、そのシステムを稼働させるためには電源が必要で、ハウス内では安定電源が得られないこともあり、機材の動作のための電源確保が問題となる場合もあります。

現在、その改善策として「電源として、ソー

バイオマスチップ工場

あがつま森林育成事業協同組合

理事長 入江 勝郎さん

今回は、東吾妻町植栗地区でバイオマスエネルギーとなるチップを生産しているあがつま森林育成事業協同組合理事長の入江さんから話をお聞きしたので紹介いたします。

あがつま森林育成事業協同組合は、素材生産ではなく「せっかく作るのであれば異業種で特徴的な組合を作ろう」と、林業に携わってなかった6人で平成二十四年に設立されました。

当組合は、間伐材の有効利用としてチップを生産し、町内にある株式会社吾妻バイオパワーに出荷しています。材は主に吾妻森林組合や地元素材生産者からC、D材を入荷しているとのこと。

チップは当初、叩いて破碎するタグ方式を活用し、その後、切削式のドラム式に変えて生産性が上がり一日、50〜60tを生産できるようになりました。

また、令和二年十一月には、従来のディーゼルエンジンから、環境に配慮した電力に変えた大型チップを導入し、現在では一日、80〜90tの生産増加に合わせ、チップの形状が均等となり、品質の良いものができるようになりました。従来使用していたチップ

も併用して稼働できるので、大径木についてもチップ生産をしています。



入江理事長

安定的な材の供給を考えると自社で伐採するのが効率的であり、将来的には高性能機械の導入を考えています。このため、今年新たに伐採班として2名を採用しました。また、森林経営管理制度にも興味を持ち、今後は育成経営体への登録も進めたいとのこと。

入江さんは森林について関心が高く、自然エネルギーの大切さから多目的な木材の活用について、「チップ生産以外にも、森林にある全ての資源を無駄なく活用し、薪、菌床材、ペレット、また、木炭などを生産し、木の駅、木の流通センターのような施設を作り、木材の二次、三次産業ができれば地域の雇用、地



チップ生産

(吾妻環境森林事務所通信員)

場産業の活性化に繋がる」と夢を持っているようです。

また、「これからは若い人のリーダーが必要であり、それには組合の名にある「育成」が大切なことになる。若い人が森林に関心や希望を持ってもらえるよう、この組合からアピールして行きたい」と、力強く話をしてくださいました。



「緑の募金」にご協力ください！

森林や緑は、おいしい水やきれいな空気、地球温暖化の防止など多くの恵みを私たちに与えてくれます。その恩恵は、現在の私たちだけでなく将来を生きる子どもたちにももたらされます。「緑の募金」に協力して、森林や緑づくりに参加することは、将来の世代に豊かな地球環境を残すことにもつながります。

当委員会では、森林や緑を守り育てるため、4月1日から5月31日までの春の新緑シーズンと、9月1日から10月31日までの秋の紅葉シーズンを中心に緑の募金活動を実施いたします。

郷土ぐんまの緑化を推進し、かけがえのない郷土の緑、地球の緑を守り、地球温暖化を防止するため、是非、皆様のご協力をお願い申し上げます。

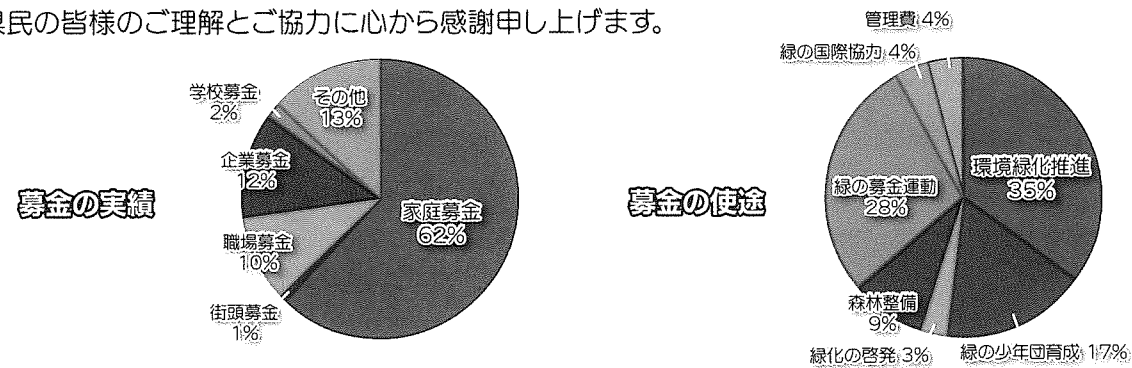
公益社団法人群馬県緑化推進委員会 会長 山本 一太
理事長 八木原 勇治

令和2年度緑の募金実績と使途

令和2年度の緑の募金額は、総額 29,479,737 円となりました。

この尊い募金は、小中学校や公園等の身近な環境緑化をはじめ、緑の少年団の育成、緑の国際協力などの多くの事業に役立させていただいております。

県民の皆様のご理解とご協力に心から感謝申し上げます。



令和3年度緑の募金の目標額 30,000,000円

公益社団法人 群馬県緑化推進委員会 TEL: 027-280-6257
FAX: 027-255-6265
〒371-0854 前橋市大渡町一丁目 10-7 (県公社総合ビル) URL <http://www.g-sinrin.jp/>

税制上の優遇措置 個人の場合：所得税の所得控除及び個人住民税(地方自治体の条例で指定されている場合)の税額控除が可能です。
法人の場合：算定金額までの損金算入が可能です。

令和3年度緑化運動標語 森づくり 緑と笑顔で 地球をつつむ
(館林市立第三中学校 花本 良美さん)

トピックス

令和2年度 ぐんま林業就業支援研修の実施

山に関わりたい、林業という職に就きたいという方の困り事として、林業に関する情報が少ないとすることがあります。十分に情報を得られず、理想が先行し、働いてみたところイメージと違ったという話も聞きます。そこで、県では、そのイメージギャップを埋めつつ、県内の林業事業体に就業していただくステップとして「ぐんま林業就業支援研修」を実施いたしました。



今回は4名の方が研修生として参加され、令和3年1月25日(月)から2月4日(木)の9日間の日程で、次のようなメニューを行いました。

- チェーンソーの特別教育
- 刈払機の安全衛生教育
- 伐倒練習機による伐倒練習
- 林業事業現場での作業体験
- 働いている方たちとの意見交換会
- 就業相談

研修前半では、林業で働くために欠かすことのないチェーンソーと刈払機の教育を行い、安全な扱い方や整備の方法等を学んでいただき、更に今年度から導入しました伐倒練習機を活用し、擬似的な伐倒を繰り返すことで、安全確認の手順やチェーンソーの取扱いの経験を積んでいただきました。



伐倒練習機を使用した研修の様子
一つの丸太に複数の受口を作り練習しました、丸太の入替も簡単に出来ます。

研修の後半では、県内林業事業体の協力のもと、林業現場を体験していただきました。このほか、フォレストワーカーの方に協力いただき、経験談など生の意見を交わす機会を設け、より林業という仕事のイメージを深めていただきました。

研修生の感想は、「基本的なことを体験できた」「実務は楽しいと感じた」「林業の大変さや危険さを学ぶことができた」「賃金も含まれ家族と相談して考えたいと思う」など、林業作業を体験し、就業に向けて具体的な検討をしていただけたと思います。